

ファッショングループへ向けて  
ネットワークづくりを

△座談会出席者△

松谷富士夫（神戸婦人子供服小売商組合  
紅屋代表取締役）

1

藤本ハルミ／コウベファーフショウモデリスト会長／デザイナー

田中勇二郎／理事・事務局長  
コウベフミヤシロ／アンソシエイション東都  
コウベファッショントウン協議会専務理事

1

高橋 洋二（真珠の街神戸を考えるプロジェクト会議  
タカハシバル閣専務）

山田 幸男／山菜六段社長

業のほとんどの社屋が完成する予定です。

——神戸がファッショングループ都市を目指して、既に十二年を経過してきました。これも全国に魁けてのことであつたわけですが、神戸は幸いにもファッショングループ都市としての基盤を十分に持っていたわけで、これらの要素がすべてK-F活動に繋がっているわけです。ここに、その力を結

集しようというこ

たい所存です。

松谷富士夫さん

100

## き た ニ ウ ヘ フ ア ツ シ ヨ ン グ ル ー プ の

今後の動向  
田中 ポートアイ

|中西二郎さん

は今秋には進出企

一夕でできるものではありませんので、多少の歳月を経て、目指す街づくりを考えていけばいいと思います。

業のほとんどの社屋が完成する予定ですので、そこで一度くぎりをつけて町づくりに取り組むつもりです。昨年暮にインターネットショナルスクエアのボーアイ大通り西側にノエビア、フジッ子と谷岡学園グループの中京女子大学による情報工学研究所が建設されることが決まりまして、それらを含めて全体で38社になります。しかし、その中に関連会社もあるので数字は、変わってくると思います。そうした中で、各社のビル 자체は、それぞれ高い評価を得ているわけですが、町としての雰囲気にはまつたくとぼしく、どちらかというとまだ建物の冷たさが残った街であるという問題が指摘されていますが、街は一朝一夕でできるものではありませんので、多少の歳月を経て、目指す街づくりを考えていけばいいと思います。



高橋 洋三さん

荒津 正美さん

藤本ハルミさん

山田 幸男さん

中西 省伍さん

ようになり、それ以後はできるだけいろいろな意味で重ねてきました。神戸のイメージアップのために努力を重ねてきました。

そこで、本年度は神戸の真珠業界の対外的な広報活動を統一しようとPCK推進協議会を現在、4月設立を目指して準備中です。この中には従来からPCKの活動に協力している企業の方々も運動に加わっていただこう思います。

ですから、今後は、組織として皆さんと同じテープルでお話しさせていただく機会もでることと思います。

中西 KFCができて10年が過ぎました。

したが、当初の目

的は、神戸の個人のデザイナーが一人一人でやるよりもファッショング都市として活動する中で何かアクションを起こせたらということでクリエイターが寄り集まつて、KFCができたわけです。

その作品発表も10年やつて、一々ぎりついたのでここで何か新しいことをKFCで考えないといけないと思ふ。現在、KFCのメンバー11人で再誕生の方向を模索しているのが現状です。

荒津 KFSはもともと神戸市のファッショング都市宣言の時に、ファッショング市民大学ができまして、その中のOBが、このまま皆が離れ離れるのはさびしいのではないかということから最初第1期生から5期生までが集まりまして、それでKFSが、昭和49年にできて以来12年間続いています。私どもの会には現在、服飾関係の方はもちろんのことシューズ、真珠、食品、家具、美容、理容などいろんな方がおられまして、最初は親睦のためだけに集まつてこられたわけですが、せっかくこうしてやってるわけだから同じファッショング関係に従事しているものとして勉強会すればどうかということ、マジスリーサロンを毎月一回、いろんな講師をお紹介しまして開いております。また、年2回はファッショング公開講座を開き、ファッショング関連企業でご活躍の方にも参加していただき、立亀長三さんを講師に、ヨーロッパ、ニューヨークファッショングをスライドで見せていただきたりしております。こうした勉強会は、個人の自己啓発を目的として開かれております。また、私どもがいろんな方々の協力を得て発行しております『スイング』も第4号を数えるに至りました。

また、当会のメンバーで神戸市の身体障害者の施設に勤務の米田さんがライフワークで身障者のファッショングを手がけておられますので、それも最初からずっと私どものメンバー7、8人でお手伝いさせていただいており、このスイングにも創刊以来載せておりますが、なかなか好評をいただいております。

松谷 現在、KFKのメンバーは52社で、中央を主体としたほとんどの店が加盟しています。ファッショングループ宣言をした神戸ならではの、他都市から来て恥かしくない小売業としての啓蒙を意識しながら優良店としての意識づくりをグループでていきたいと思います。そのための組員のレベルアップも必要ですね。また、KFKとしては、商工会議所のキャンペーンのときに率先して周辺の方々へ模範を示したり、会員相互の親睦を深めるために、従業員を含めて、船を借りて神戸港を巡回する納涼大会などを行なっています。私どもは、小売部門なのでお客様と直接、接する機会が多いので、お客様のニーズを調べて製造の方へ情報を流して、より神戸らしさを追求した商品を作れると思います。神戸のファッションは洗練されているうえ、お客様にもハイセンスな方が多いです。東京で作ったものでも、神戸のお客さんにアピールできるものでないといけません。その辺を強調しながらグループの意識として持つて活動していくべきだと思います。

藤本 KFMは、KFCと同じようにデザイナーの集ですが、高級オートクチュール的な作品を作るデザイナーの人が多く、そのデザイナーのクリエイティブなところを伸ばすためのグループです。いわゆるアパレルさんがやっておられるような世界中のファッショングループはなんとなく離れたところで作品を作っているグループといえます。

KFMではポートビア'81の前年に会が結成し、ポートビアの年にポートビア'81へのプレリュードを開催してからKTF含めて7回、ファッショングループを開きましたが、神戸はバールと縁が深いこともあって、去年も田崎真珠や大月真珠をはじめとする7社に応援していただきまして、ファッショングループを開きました。ファッショングループは大変ですが、デザイナーは何か目標がないと日常なままでしまいますね(笑)。シヨーはそれなりにみんな一生懸命やっていますが、神戸のシヨーを日本中

の人口に知つてもらいたいと働きかけています。2、3年前から婦人画報や「ハイファッショングループ」、朝日TVのモーニングショーなどで取り上げてもらいました。

山田 KFRは料理のRです。会員構成がオーナーと職人なので、集いを行ないますとオーナーは出席しやすいが職人の方がでてきにくいというのが悩みです。

最近、日本料理は世界を席捲するというような勢いで、頼もしく思っています。しかし、どうも日本では料理人の社会的地位が低くて、例えば文化賞の対象などにもならない。これはお話しですが、日本の文明開化を起こしたのは、日本の伝統料理を食べなかつた日本料理の何たるかを知らない下級武士によって文明開化がすめられたためフランス料理を導入した、その為だと言われています。(笑)

明治で日本料理の流れが寸断されたわけです。最近、文化を大事にしなければということで、食べることについて誰れもが語るようになりました。そして、本当に神戸の食文化は日本一だと思いますが、一方で、文化としての“食”意識に欠けていると思うのです。例えばパーティなど見掛けのことですが、テーブルに群らがって、食のマナーが確立されていないと思います。すばらしい先生方が非常にひどい状況を呈しておられます。こんなことを会員同士でどうしたら意識改革ができるだろうかという話になっています。

神戸では、ファッショントウンの敷地の中に、超一流のものが集まるような場所を提供していただいて、家具も一流であれば、料理も一流、飾る物も超一流という全部一流という場所、あいているときは学校にしていただければと思いますが、そういう場所を作つてもらえばきっとペイできると思いますね。そこが推進母体となって食文化で活躍している方に差し上げるようなことを考えてほしい。それには我々の小さな力では無理なので

ネットワークを作つて、みんなで協力すれば、神戸しさをアピールすることができると思います。食べることは、一番文化を伝達しやすいと思いますね。

高橋 大阪で食博覧会がありましたが、神戸では甘味を出したデザートフェアを青年会議所が3年続けてやっていますのでそれを拡大してゆけば神戸は確かに食べ物がおいしい町なので楽しいイベントになると思います。

田中 昭和47年にKFAを結成しまして、当初は任意団体でスタートしたわけですが、53年に協同組合方式をとつて、特にオールスタイルの川上社長を中心にファッショーンは環境の産物だという考え方から町づくり、環境つくり一本にしほつてきました。実際形となっているのはKFAの中からファッショングループを作ろうという動きがで、それがグループができてそのグループがただ装いの分野だけでなく広く生活文化ということで、いろいろの業種が集まつて現在はファッショントラウ恩協議会という形をとつていています。ファッショントラウ恩も10年ぐらい続けてますが、他都市のアバレル会社がビジネスオーナーでショーやつていてのに対し、いわゆる市民のためのショーやつていてるのは神戸ぐらいじやないかと思います。

神戸にはKFAと名のつくグループがいくつかあるわけですから、みなんど力をあわせて文化の創造といえどオーバーかもしれませんのが、そういう活動をぜひ続けていかなければいけないと思います。ファッショントラウ恩に新しい建物を作ることは現実に用地もありませんので無理ですが、神戸商工会議所がファッショントラウ恩建設の動きもありますので、そこにみんなの意見で、ファッショントラウ恩にふさわしい内容を盛り込んだ、ビルにしてほしいと働きかけていきたいですね。

それとファッショントラウ恩の個々のビルは確かに立派ですがもう一つ国際性という面で、もう一つシンボリックなもの、国際的に通用するもの建てほしいと思います。全国的なあるいは外国の著名な建築家にスカツとし

た、とにかく国際的に通用するものつくつてもらつてそこにいろいろなことできる施設ができるものかと思つております。

#### ★神戸のPR強化のためにファッショングループの大同団結を

藤本 ファッショングループが作られて、京阪神が同時にシヨーすることになったときはじめそれを聞いて関東に対しても関西がまとまって、頑張ろうということでいいなあと思ったのですが、実際やってみるとまとまりがあるようになりますが、実際には何もない、むしろ逆に京都のお客さんが私たちのシヨーを見にきてくれたのが、同時期に、他の所でもシヨーやってるので来れないとかモデルさんがつかまつにくいために思ひがけない問題がでてきました。私はやはり、京阪神が同時にシヨーをやるならば、どこかでドッキングして、京阪神が一つの土俵の上に上がってイベントするというのではなく何にも意味がないと思います。

田中 個々の団体とかグループでのPR局では底辺が小さく弱いので、PR面からも、生活文化のグループが大同団結をして組織づくりをしてそれで訴えていくことを考えたい。神戸にも記者クラブ等あるわけですが、業界誌の記者たちが集まれるサロン的な場所と機会を年に何回かつくつて、そういう人と交流する必要があるよう思います。そして、そこを情報サロンにしたいのです。これは、神戸のすべてのファッショングループの人たちが交流できる場にもなるでしょう。

PRのやり方にも、コーディネイターやプロデュースできる人が神戸には少ないので、人材が育つ環境を工学研究所等に、我々はソフトタッチオフィスビルと申しておるわけですが、ソフト関係の人たちが集まるのオフィスをぜひ設置していただきことにより、環境づくりをしていきたい。現状では、それぞれの企業がポン、ポンと花火を打ち上げているだけで、もう一つ全体として

の色とりどりさというか、鮮やかさに欠けています。

中西 これまで、KFKとついたグループがそれぞれの形で活動を続けてきて、それなりの成果をあげたわけですが、これからはファッショントリビュートなどという意識で市民レベルでファッショントリビュートをするべきではないだろうか。そういうものでできてくれれば神戸のファッショントリビュートが全国的な注目をあびるのではないかでしょう。

★若い感性を結集してファッショントリビュートをめざす  
田中 若い人たちが集まれる場所がありませんので、そういう人が集まれるパーティを企画すればいいと思う。最近は、男性もファッショントリビュートに凝りはじめますし、新聞などみましてもメンズの服飾メーカーがパーティをやり始めているという記事もありますので、そういう意味では二番せんじかもしれません、若い人たちが中心にならなかったパーティをぜひ企画すればいいと思うんですね。

松谷 専門店は、個性的なので協同で事業することはたいへんむつかしいことだと思います。KFKでもファッショントリビュートをやりましたけどなかなか足並みがそろわないのですよ。神戸は行政の力が強いですから、協同事業は市とタイアップしてやったほうがいいと思います。

神戸のものはP.R.がうまくできていない。情報の発信基地にはなっていません。イメージは発信してるのですが。ハードウェアは、神戸はここ10年くらいで大きな変革をとげましたが、ソフト面は市民レベルで作ついく要素が多いと思います。イベントをプロデュースしていくとか、市民の人々に生活を楽しむべきというライ

フスタイルを定着させる努力を我々がしないといけないと思います。それを推進していくのは、若い感性だと思います。その感性をうまく引き出すようにしかけていかないといけません。

PCKは北野町と真珠を結びつけたイメージづくりを考えています。具体的には通りにバーレストリートと名づけたりしてます。街そのものがファッショントリビュートで、お客様へアドバイスしないと商品が売れない。

松谷 ファッショントリビュートを表わす市民参加の動きを考えていきたい。

そして、市民を啓蒙するためにも物作りだけでなくスマッシュカンの養成も重要です。この人がいないといちらい店をつくつてもだめなんですね。販売員がスタイルで、お客様へアドバイスしないと商品が売れない。

田中 学園都市のファッショントリビュート工科大学は、ファッショントリビュート産業のための人材育成機関と思われがちですが、そうではなくて産業のファッショントリビュート化のための人材育成といふたいへん広い意味での人材を養成する新しい形態の学校ですので63年4月開校が待ちどうしいですね。

高橋 組織間のレベル調整も必要です。その意味でぜひともネットワークづくりが必要になります。行動力は青年会議所がかなり持っていますのでタイアップすることも必要でしょう。

中西 全市民的意識改革をしていけたらいいと思います。全市的にファッショントリビュートを設けて、神戸祭りのように北区ファッショントリビュート、とか西区ファッショントリビュート、とか区別にして、会場では楽しい趣旨を凝らしたイベントをやって、もちろんおいしいものが食べられるといったことを考え、全市的に考え方をまとめていく役としてなんとかみんなで力を合せてファッショントリビュートづくりを考えてほしいと思います。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作  
神戸市中央区港島中町 6-3-2  
TEL (078) 302-3321

株南インターナショナル

代表取締役 南泰吉  
神戸市中央区浜辺通5丁目1-14  
神戸商工貿易センタービル1701  
TEL (078) 232-1301





## 香住第二中に脈打つ奉仕精神

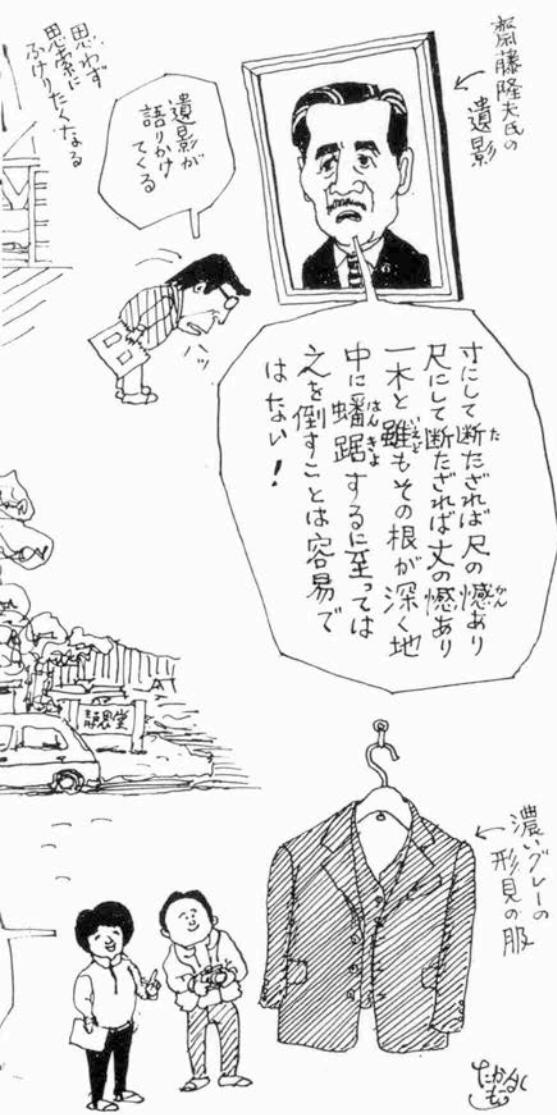
### ～国鉄佐津駅清掃20年～

同じ兵庫県内でも、瀬戸内海側と日本海側では、随分気候が違うものです。今回は、神戸を遠く離れ、冬の但馬地方を尋ねてみました。香住に近づくにつれ、雪が深くなる一方で気温もかなり低く、底冷えがするなか、国鉄山陰線佐津駅に到着しました。

この駅で、香住第二中学校の生徒たちが、清掃のボランティア活動をやっているのです。駅の木戸をあけ、待合室に入ると間もなく、生徒たちが、手にホウキ、バケツなどを持ちさっそく作業にかかり始めました。毎週土曜日の放課後、全校生が交替で清掃しているので、駅内は清潔そのもの。それでも、小さなゴミも見逃さず、陸橋の階段や、ホーム、待合室、駅玄関口をていねいに掃除していきます。約30分後、清掃は終了し、駅は一段ときれいになりましたが、清掃だけでなく時には四季の花々を持ち寄って待合室などに飾り、乗降客の目を楽しませてくれるそうです。

こういった奉仕活動が、もう20年も続けられており、先輩から後輩へ、脈々とボランティア精神が、受け継がれています。昨年12月3日には、長年にわたる地道な活動に対し、国鉄総裁から感謝状が贈られ、またこれまでにも兵庫県からのじきく賞を受けるなど、高い評価を得ています。黙々と清掃作業を続ける生徒たちの姿に、さわやかな印象を受け、心温まる思いでした。ここで香住を離れ、出石へと向かいました。





## 出石の静思堂で沈思の時を ～齋藤隆夫記念館をたずねて～

そば処で知られる出石町に、「静思堂」という建物があるのをご存知ですか。出石出身の昭和の政治家、齋藤隆夫氏の記念館として、昭和58年10月、財団法人齋藤顕彰会によって建てられました。その名の由来は、「大観静思」という辞句から採ったもので、戦時にあって、軍部を痛烈に批判し、日本の未来を憂えた齋藤隆夫代議士の思想の根本ということです。宮脇檀氏の設計で、周囲との違和感もなくまさに土地から自然に生まれ出た、それでいて、聖域のような厳肃さも備わった建物で、昨年10月には、兵庫県から第1回みどりの建築賞を受賞しています。

正面の門を入ると、目の前には樹と砂だけで構成された中庭が広がり、左手には母屋へと続く回廊があり、その静かなたたずまいに落ち着きをおぼえます。母屋の中には、故齋藤代議士の遺品や遺稿が展示された部屋のほかに、静思堂のもう一つの目的である「静かに思いをめぐらせる空間」として、簡素な板張りの集会室があります。その中央には、大型の炉が床に2本設置され、論議、思索の場として最適。また、低い軒下の縁側に腰かけて、中庭を見ながら思いをめぐらすこともできます。街の喧噪を忘れ、しんしんと降り積もる雪を見ながらのひとときは、自分自身を見つめる貴重な時間となりました。日常を離れて、思索の時間を持つゆとりを忘れずにいたいものですね。

### 静思堂～齋藤隆夫記念館

〒668-02 兵庫県出石郡出石町中村宮ノ下 TEL079652-5643

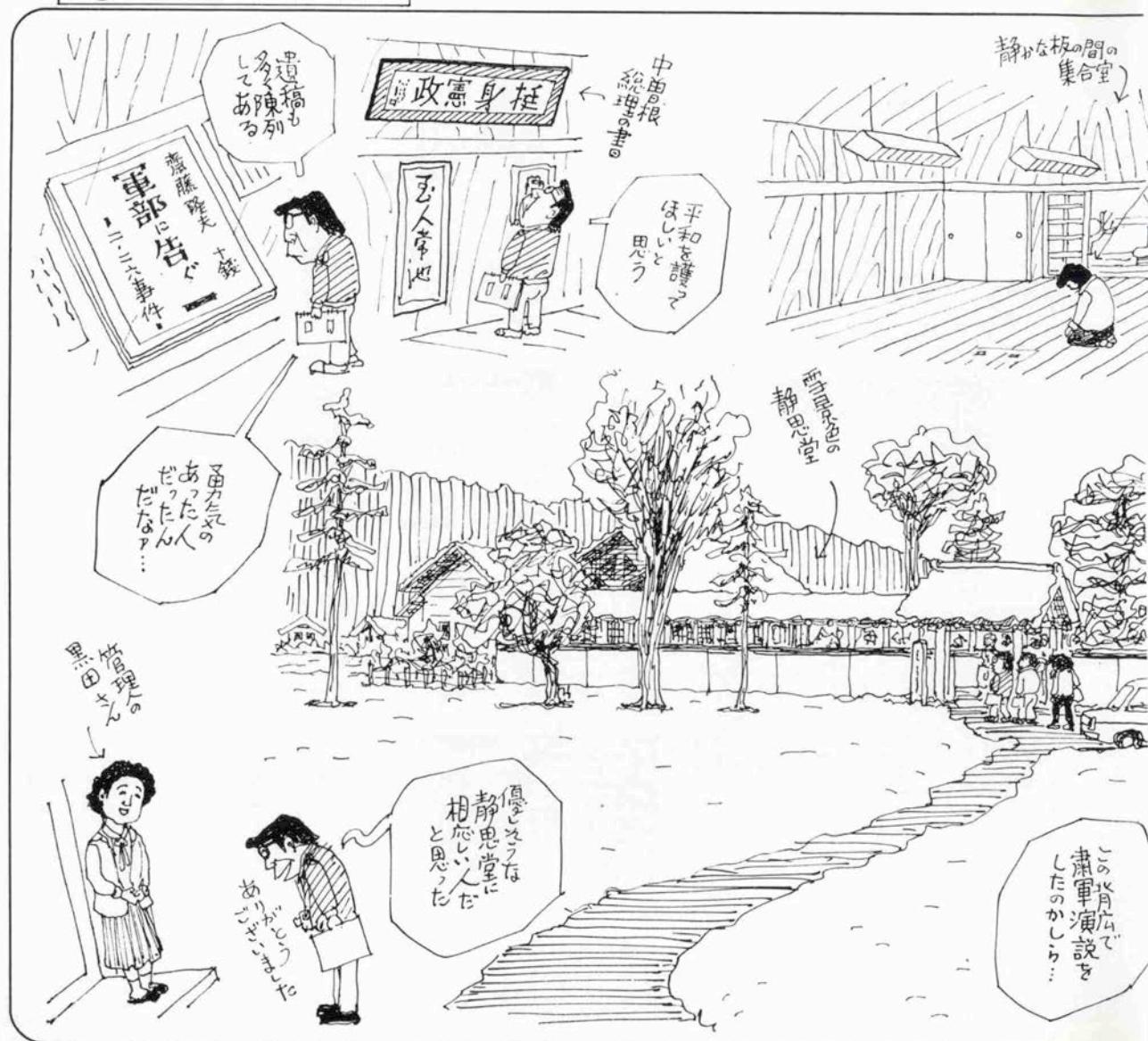
■マイカー、観光バスご利用の方

神戸→福崎→市川→和田山→八鹿→出石

■国鉄ご利用の方 山陰線岡駅下車 出石行バスで約30分

これまで、兵庫県内の各地を訪ねてきましたが、強く感じたのは縁あふれる生活空間が人間にとてなにより必要だということでした。現在でも、それは着実に進んでいます。兵庫県が進めている全県全土公園化運動がそれです。

一人一人が縁を愛して育っていく気持ちをもつことがますます大事になってきますね。





おとなの服。



'86 SPRING COLLECTION

パフュームが薫りたつように、



serizawa  
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ ■KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

極める時代●そごう

# 贅沢コレクション〈IX〉

■心ゆたかに■

## アダルトな スポーティ・エレガンス

GUY LAROCHE



ギ・ラロッシュはイヴ・サンローラン、ピエール・カルダンと並ぶディオールの三大弟子で、フランスのエスプリと機能性が溶け合ったデザインは多くの女性を魅了している。メンズから“フィジー”に代表される香水、きものまで広く進出しており、この春夏はライトカラープリントに代表される華やかなフェミニンさがただよう。

「学生時代からスポーツが好きで、この五、六年はテニスに凝つてます。平静はパンツルックが多いのですがちよつとおしゃれを、という時はギ・ラロッシュが多いですね。材質とパターンがとても良いので長く着れます。『スポーティ・エレガンス』というギ・ラロッシュのマインドが私にはぴったりですね」と西本さん。ギ・ラロッシュのコーナーとはもう十年来の付き合いなので、アドバイザーとも気心が知れ、服装プランもたてやすいそうだ。

野球解説者、西本幸雄氏の次女。「父は最近始めたゴルフに夢中で、一緒にコースを回りましたが、あんまり口うるさいのでヨリゴリ(笑)私の服装もキユロットとか気に入らないと文句を言います(笑)ギ・ラロッシュは勿論合格なので安心して購入できます」



西本 都さん

# ROYAL SALON

パレロアイアル

'86 SPRING & SUMMER  
GUY LAROCHE COLLECTION

新館5階



ヴァレンチノ・ガラバーニ



グッチ



セリース

TRUSSARDI

トラサルディ



アクアスキュータム



ヘルノ

GianVersace

ジャンニ・ベルサーチ



ギ・ラロッシュ

BOTTEGA VENETA

ボッテガ・ベネタ

GIORGIO ARMANI

ジョルジオ・アルマーニ



フェンディ



ミッソニー



ランバン



エルメス

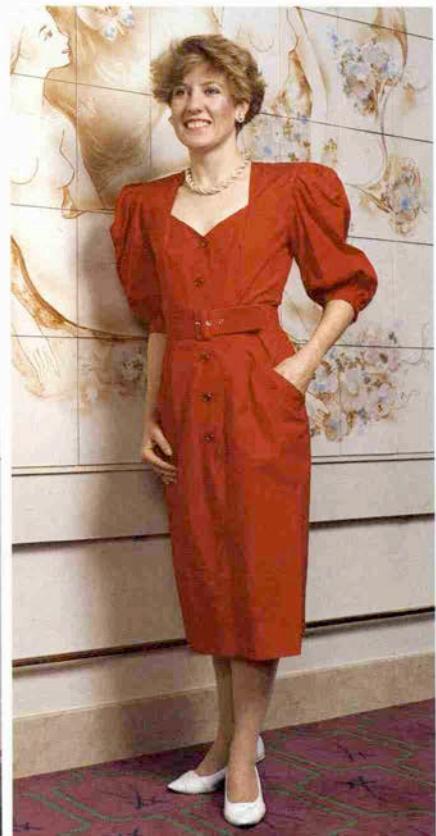


マイセン

**SOGO**  
SANNOMIYA KOBE



スーツ(コットン100%) ¥98,000



ワンピース(コットン100%) ¥89,000  
MODEL/KARLA HOKANSON

■私のアメリカ〈2〉

# マンハッタンのホテルで バツファローのF.I.T.をめざす

（ファッショング工科大学）

松谷年郎

（株紅屋常務取締役）

「よくまあ、こんな国と戦争したものだ。」これが私のアメリカに着いた時の第一印象である。羽田よりケネディー空港に着き、迎えに来てくれた知人の車に乗り、マンハッタン島に入った時には、がく然としてしまった。ニューヨークのビルの高さ、大きさは、想像以上のものであつた。マンハッタンの中心部に入つていくと、摩天楼という群れに押しつぶされそうなちっぽけな「蟻」の様な気分になつたものである。この様なビルの群れが、戦前既に存在していたかと思うと、国力の差、経済の底力の強さをまのあたりにみさせられて、そんなアメリカとの戦争に導いていった当時の日本の指導者が、いかに世界を知らなかつたかということを思い知られる。

その夜より、約一週間のマンハッタンでのホテル住いが始まった。一人で部屋にいると心細いものである。廊下の靴音一つにも敏感になつてしまつた。朝食は、

いつもホテルで取つたが、チップを勘定とは別にテーブルに置くのを忘れ、ボーライに二、三度催促された。慣れるまでは、全くやつかないものである。昼間は、五番街や、エンパイアステートビルなど、市内を一人で歩き回つた。今から思うと、タクシー地下鉄を利用すればよかつたのであろうが、慣れない土地と、不安な英語でタクシーに乗つてどこに連れていくかわからぬ事がこわかつた。

そうこうしている間にも、まず大学への入学許可を得るために、英語の勉強をどこにするか決めなければならなかつた。候補地は、ニューヨークと、バツファローである。ニューヨークは、志望校の二ユーヨーク洲立ファッショング工科大学（以下F.I.T.と略す）の所在地であり、バツファローの方には、F.I.T.と同系列の州立大学があつた。ニューヨークに留まれば、F.I.T.にも近く、勉強の励みにもなるであろうが、なにせ日本人の知人が



多く、日本語で用が足りてしまうので為にならない様に思われた。その点、バッファローでは、日本人も少なく、英語でないと生活出来ないし、結局は、ニューヨークに帰つてくることになるので、ニューヨークとは違つたいなかの生活も経験してみたかった。そんなわけで、バッファローに行つてみる事にした。

ニューヨークから飛行機で約一時間、バッファローに着いた。こうして、バッファローでの四ヶ月間の大学の寮生活が始まった。その時は、バッファローが、

私の人生の中でこんなにも大きな存在にならうとは思いもしなかつたのである。

#### 筆者紹介

昭和23年生まれ、株紅屋松谷富士男氏  
長男、昭和48年4月、米国州立ニューヨーク大学語学部へ入学、8月同校を卒業。昭和48年9月、ニューヨーク州立アッシュション工科大学入学。昭和52年6月、米国州立ニューヨーク大学大学院経営学部修士課程修了。昭和60年5月、米国州立ニューヨーク大学国際経営学博士号取得。



「ニューヨークの窓」 PHOTO/菊池 満

KANEKO SHINJU

私を風にのせて伝えたい。

萌える若葉の香りとともに、

私の心、伝えます。

金子真珠店では、  
そんな女性の勇気を応援します。



— 真珠・宝石 —  
**金子真珠店**

御影ガーデンシティ

神戸市東灘区御影山手1丁目 〒658

☎ 078(822)0581

● 東京 ● 大阪 ● 神戸 ● 福岡 ● 長崎 ● 佐世保



## 3月のサウナ・ビューティー

### ★サウナ

女性の肌は、ふつう28日周期で新しい肌と交替します。サウナの汗は新陳代謝を若い肌のように活発にし、肌のくすみを解決します。

### ★冷水超音波バス

ほてったからだをひきしめ、サウナとの反復浴で、新陳代謝を高めます。超音波の働きで、老廃物もすっきり！

### ★ハーブ(薬草)サウナ

ハーブの薬効成分を含んだ、白いスチームを浴びて。サウナで新陳代謝を促したあとなら、さらに効果的。肌にもからだにも、自然な健やかさを。

### ★ハーブ(薬草)バス

ハーブティーのお風呂。気分もときほぐします。湯あがりの肌は、不思議にすべすべ、ぽかぽか。

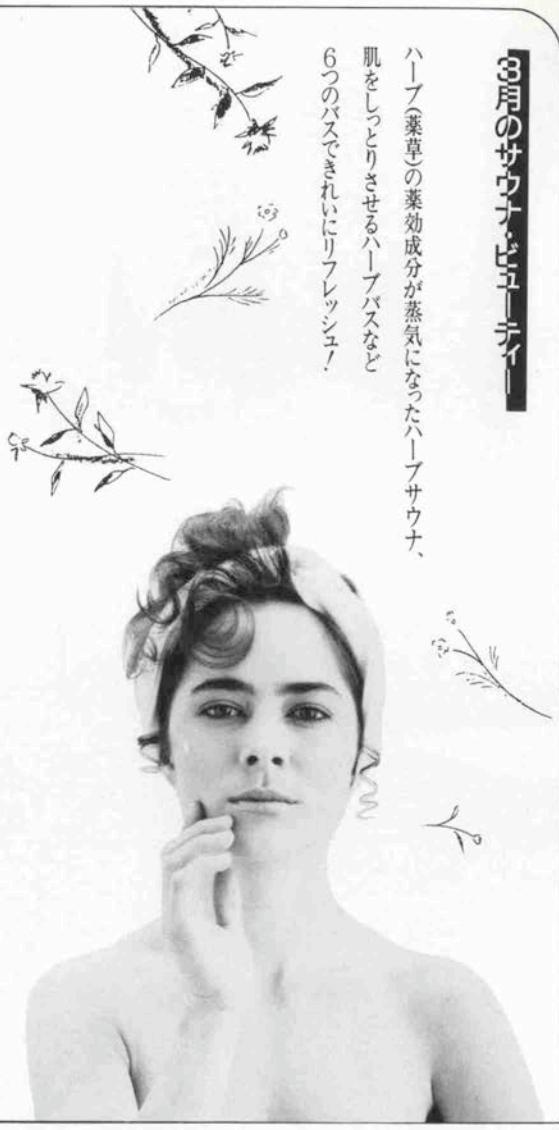
### ★温水バイブラバス

マッサージ効果の高い泡風呂に、腰、お尻のツボを刺激するジェット噴流をプラス！血行がよくなつて、リラックス度は満点。

### ★マッサージ・シャワー

6ヵ所から、強力な水のシャワーが肌を刺激。好みの強さに調節できます。湯ざめを防ぐだけでなく、肌を鍛え、みずみずしくリフレッシュさせます。

ハーブ(薬草)にひたつて、  
きれいになる。



ハーブ(薬草)の薬効成分が蒸気になつたハーブサウナ、肌をしつとりさせるハーブバスなど  
6つのバスできれいにリフレッシュ！

# サウナとエステティック 神戸 レディスサウナ

神戸三宮・生田新道ワシントンホテル向かい

TEL.078-321-4742-4741

営業時間 朝10時～夜3時 年中無休



サウナコース(平常)1,900円 マッサージ2,800円 ボディ・ケア3,500円～7,000円 フェイシャル・ケア4,000円～5,500円

神戸の姫様（25）

おぼこさんは

“純情可憐”がぴつたり

黒田弥生さん（25）  
（甲南女子大学国文学科  
黒田政重氏長女）

黒田政重氏は神戸大学の大先輩で、食事や旅行と共にする家族ぐるみのお付き合いがもう、十年以上続いています。弥生ちゃんは典型的な“箱入り娘”で“甘いパパ”に可愛がられ、茶道、華道、英会話、料理など花嫁修業も準備万端です。甲南女学校の中・高部時代にアナウンサー部で活躍した実績があるので、その方面のお仕事にも興味を持つているとききました。

あまり急がずにもうしばらくはお父さんの側にいてあげては？

推薦者／志水謙次  
(志水耳鼻科さんラサ)  
カメラ・米田定蔵



神戸のお嬢さん 〈26〉

# 八面六臂の 活躍ぶり

嘉納ももさん 〈関西学院大学社会学部大学院〉  
〈一回生 嘉納洋二氏長女〉



ももちゃんに会ったのは確か七、八歳の頃パリーでお家へお邪魔したときだと思う。約十年のパリーの生活を了えて帰国、早速うちの娘と付合うことでガラの悪い神戸弁を覚え、亡くなつた小磯のお祖母ちゃんを嘆かせたものです。海星の頃は英語弁論大会で優勝しテレビに出たり、関学へ進んでからはフォーランソングを歌つたり、スキーに熱中したり、そして大学院では何やら難しいことをやつてているようで、正に八面六臂の活躍ぶりです。写真は小磯良平画伯(祖父)のアトリエにて カメラ・米田定蔵

推薦者／永田良一郎



(永田良介商店社長)

## 映像の影響

昨年、パリ（装飾美術館）でインド展が催され、その後インドが注目されている。

ニューヨークも又、インドブームのようだ。インドは長い間西欧の人達を魅了してきた。そして今、新たにインドは注目すべき影響をファッショனに与えている。火つけ役は英國である。二年前、BBC放送が「ジュエル・イン・ザ・クラウン」と題した長い連続TV番組を制作し、好評を得た。

そして米国で一昨年秋～冬にかけてこの番組が放送され、やはり視聴者を魅了して、又、同じ時期に、これも英國の作で「パッセージ・トゥ・インディア」なる映画も封切られ、TV同様、大変な人気で長い行列をつくつたようだ。映画の内容はおくとして、この二つの人気作品の中で登場する「美しいサリー」に身を包み、繊細なアクセサリーをつけたインド女性はエキゾチックなインパクトを多くの女性に与えたようだ。

この様な海外からの情報に目を通していて、ふと気がつく。それは、映像媒体が流行のリーディングフラッグを又、持ち始めたナビ

いうことである。

1960年代までは、流行は映画によつてつくられたといつてよい。ところが、ジーンズやミニによつて個性が前面に出るようになつた。1970年代からごく最近までは、この傾向は消えてしまつた。それは「個性」に重点がおかれていたからである。

しかし「炎のランナー」以降（又、米国でマドンナを一躍人気スターにのし上げたM・T・V（ミュージックTV）等）映像媒体からの影響力が重要になつてきたことを強く感ずる。

当然、多様化、個性化を経た今のファッショன状況のもとであるから、すべての映像媒体が必要で銀幕一辺倒にならないことは予測するが……。

今夏のインドムードとこれから映像には注目したい。

